

日本大学

NIHON UNIVERSITY DISTANCE LEARNING DIVISION ALUMNI ASSOCIATION

通信教育部校友会報

発行所：日本大学通信教育部校友会
発行責任者：鈴木 勝／編集責任者：師田 袈裟茂

〒102-8251 東京都千代田区五番町12-5 TEL・FAX 03(3234)5858
通信教育部校友会ホームページ：http://www.nudld-koyukai.sakura.ne.jp/wp/

子曰、
性相近也、
習相遠也。

生まれつきは似よっているが、
しつけ(習慣や教養)でへだたる。

『論語』

令和2年元旦

謹賀新年



新年のご挨拶

日本大学通信教育部校友会

会長 鈴木 勝



新年明けましておめでとうございます。
全国校友の皆様から新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、日本大学は創立130周年を迎えました。118万人の卒業生を送り出している、日本最大規模の総合大学である日本大学が、

た。10月4日に東京都の帝国ホテルで130周年記念式典・祝賀会が、麻生太郎副総理ほか多くの来賓を迎え、盛大に開催されました。田中英壽理事長の式辞で「輝かしい未来を創る」と述べられ、祝賀会においては、大塚学長が「学生の成長を第一」と決意を表明いたしました。118万人の卒業生を送り出している、日本最大規模の総合大学である日本大学が、

140年、150年と続く未来を見据えて、一歩と前進するひとりになれたらと考えています。さて、日本大学通信教育部校友会では、毎年恒例の行事として、新年会、定期総会、ホームカミングデー、全国8ブロックの各総会等を開催しております。それぞれの開催日については、通信教育部校友会事務局へお問い合わせください。また、お気

軽にご参加いただけますと幸いです。通信教育部の卒業生は、令和元年9月卒業生110名を加えて、3万5599名となっています。その卒業生で組織している通信教育部校友会は、新しい卒業生の皆様のお考え・お力を切望しています。行事に参加して皆様の意見を聞かせください。諸先輩方が築かれた通信教育部校友会を益々発展させるべく、役員二

同努力してまいります。校友の皆様のご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。今年は、東京オリンピック・パラリンピックが東京都ほか各県・市で開催されます。今年こそ災害のない年となりますよう願いつつ、新年にあたり皆様のご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

ご卒業おめでとう

学部・学科 卒業生数

法学部	
法律学科	10名
政治経済学科	9名
文理学部	
文学専攻(国)	5名
文学専攻(英)	26名
哲学専攻	6名
史学専攻	3名
経済学部	
経済学科	9名
商学部	
商業学科	42名
総計	110名

優等賞

学部	専攻部門	氏名
法学部	法律学科	柴田 萬莉子

部長賞

学部	専攻部門	氏名
商学部	商業学科	齊藤 明

精励賞・校友会会長賞

学部	専攻部門	氏名
文理学部	文学専攻(英文学)	安光 榮子

新年のご挨拶

日本大学通信教育部

部長 川又 祐



日本大学通信教育部校友会の皆様、新年明けまして、おめでとうございます。昨年4月、部長との一層の連携体制を構

に就任してはや9か月が経過しました。昨年は日本大学創立130周年という記念の年でありました。通信教育部は、この記念の年に通信制の日本大学大学院総合社会情報研究科と一体となり、学部と大学院

築することができました。本年は、それら連携の相乗効果がさらに得られるよう、教職員一同邁進いたします。私は、昨年5月25日、通信教育部校友会第48回定期総会、そして8月31日、通信教育部校友会中国ブロック総会(山口、10月4日、日本大学創立130周年記念式典、10月19日、9月卒業生学位記授与式・伝達式、11月1日、日本大学

加させていただきました。その際、数多くの校友にお会いし、様々なお話をする機会に恵まれましたこと、大変光栄に存じております。校友の皆様が、通信教育部を卒業して大変良かったとお話してくださったこと、家族にも通信教育部で学ぶよう勧めてくださったこと、学生時代、通信教育部の先生に指導していただいたことが忘れられない思い出になっているこ

と、などをお聞きして、通信教育部での学びが校友の皆さんにとってかけがえのない体験、財産となっていることが分かり、胸が熱くなりました。その一方、校友会への参加者、とりわけ若い方の参加が減少していることを皆様が大変危惧されておられることもお聞きして、通信教育部でも何かご協力できないかと考えております。校友会は、校友相互の組織ではありますが、校友

会の活動は、通信教育部で学ぶ学生の支援にもつながっております。どうかその点をご理解いただき、校友会活動を継続していただければ幸いです。

新年に向けて、通信教育部の課題は、学生数の確保であります。現在7000名ほどの学生が学んでおります。法学部、文理学部、経済学部、商学部4学部は、より魅力的な教育を提供すべくカリキュラム改定を

今後予定しております。通信教育部もこれら4学部と足並みをそろえて、通信教育部のさらなる充実を実現しなければなりません。1年生の入学生確保・増大はもちろん、4学部あるいはそれ以外の学部、他大学からの編入・転入がしやすい環境を整備する必要があるとあります。それは、単位認定や単位互換が円滑に行えるよう、各学科で弾力的に対応する必要があります。通信

新年のご挨拶

学校法人日本大学理事長
日本大学校友会会長

田中 英壽



通信教育部校友会の皆様、新年明けましておめでとうございます。時には、目を覆いたくなる

平成から新元号の「令和」に変わった一年は、どのような一年でしたでしょうか。世間では、異常気象に伴う様々な自然災害により、多くの方が被災された一年であったと感じております。時には、目を覆いたくなる

ような災害現場の映像に心が痛む日々も続きました。被災された方々には、謹んでお見舞いを申し上げます。そんな折、9月から日本で開催されたラグビーのワールドカップでは、日本代表が初めてベスト8進出を果たすなど、その活躍により日本中が活気に満ち溢れたことは記憶に新しいところです。また、今年開催される東京オリンピック・パラリン

期待は高まる一方で、特に本学の学生や本学出身者が出場する競技種目については、メダル獲得に向けて、更なる健闘を願うばかりです。さて、日本大学は昨年、創立130周年を迎え、これまでの卒業生総数は、118万人を数えます。この130周年を新たな歴史の幕開けととらえ、日本大学の新時代を創り上げていくために、今後、140年、150年と発展の道を

歩み続けていくための永続的な基盤づくりが必要であり、そこが「130年の輝き」とも「未来を創る」を標榜する真の意義となるのです。

大学はこれまで、創立130周年記念事業として、認定こども園の開園、小学校の開校、新学部の開設、7つの学生寮の建設といった環境整備を進めてまいりました。そして、その集大成として、医学部付属板橋病院

院の新設に現在、取り組んでおります。校友会もまた、準会員支援制度として、在学生に対する医療費の助成と、奨学金制度を充実させております。さらに、在学生の就職支援として毎年、大規模に実施している「就職セミナー」への補助金として、学生部就職課に寄付を行っております。また、34競技スポーツ部の活動を支援するため、スポーツ振興特別委員会を設置

し、様々な支援を行うとともに、優秀な成績をおさめた学生に対しては、褒賞金を授与しております。日本大学は、今後も日本一の総合大学の強みを生かし、「日本一教育力のある大学」を目指してまいります。そして多くの皆様によって築かれた伝統を基とし、これまでに以上に社会の要請に応えてまいりますので、日本大学と日本大学校友会の発展のため、引き

続き御支援を賜りますようお願い申し上げます。校友の皆様にとってすばらしい年となり、通信教育部校友会が更に発展されることを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

